

平成 30 年度 発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた
合理的配慮研究事業 成果報告書（Ⅰ）

実施機関名（学校法人国際学園 星槎名古屋中学校）

1. 問題意識・提案背景

星槎名古屋中学校は不登校対応の中学校として開校したが、不登校と発達障害との関連性は深く、二次的障害となって不登校になっている生徒も少なくない。また、本人や保護者が生きづらさに気付かず、成功体験が少なく、注意・叱責されることも多いために自己肯定感が低いケースも多い。子どもたち一人ひとりが持っている力は大きい。その力を自分の内に向けてしまうと不登校が長期化し、社会的ひきこもりにもなりかねない。そんな子ども達が持っている多様な個性や能力を十分に発揮できる教育環境が必要であると考ええる。

2. 目的・目標

多様な個性が生かされる教育を実現するために、様々な学びの違いに応じた合理的配慮のデータベースの作成及びユニバーサルデザイン教育の実践を深め、インクルーシブ教育を実現すると共に、認知機能を高めるため脳機能へのアプローチにより、教育効果の促進を図りたい。困難さを訓練し改善するのではなく、認知特性を生かし「才能」を引き出す多様な学び方について考察し、子ども達が楽しみながら「生きづらさ」をパワーに変換していくための適切な合理的配慮について研究していくことを目的としている。

3. 主な成果

外部の専門家と教員の定期的な相談によって、生徒の見立ての客観性が高まり、支援方法についての視野が広がった。また対象生徒のみではなく多様な生徒が在籍しているために全生徒が必要に応じて選択できる環境作りの重要性が広がった。

生徒の苦手なところに着目し苦手の克服に力を注ごうとする傾向が見られたが、できるところに着目し、それを学校生活において生かすことで自己肯定感が高まっていった。自己を認めることができることで自分の課題にも向き合う事ができ、自己調整能ができるようになり、社会適応力が高まっていった。そして、配慮がすぐに効果が表れるのではなく、一つひとつを積み上げていくことで効果が出てくるために、生徒の心理的なサポートの重要性についても実感することができた。

4. 拠点校における取組概要

① 発達障害の可能性のある児童生徒のつまずきや困難な状況の認識・理解及び、適切な実態把握による合理的配慮の提供に関する研究

（ア）感覚面（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚など）において過敏性や鈍感性がみられる児童生徒に対する合理的配慮に関する研究

○通常学級において聴覚的な過敏に配慮した集団授業内における支援や不快な体験を思い出すことにより、パニックを起こしてしまうなどの特性に応じた指導と集団内での過ごし方の工夫についてノイズキャンセラー等の機器の活用やクールダウンやメンタルサポートを意識したステップアップルーム（適応指導教室）等の活用について

② 合理的配慮の提供プロセスに関する研究

(エ) 中学校の定期試験におけるＩＣＴ等支援機器を使用した合理的配慮の研究

○中学校における定期試験において、書字や読字に困難を抱えている生徒に対し、試験問題をデータ化し音声読み上げ機能や様々な表出方法(タイピング・手書き変換アプリ・音声入力等)についてPCまたはタブレット等を活用した合理的配慮の効果について

(キ) 不登校により学校生活に支障をきたしている発達障害の可能性のある児童生徒に対する合理的配慮に関する研究

○校内委員と保護者、大学、フリースクール等の関係機関と連携し、不登校により学びを保障できない状態にある発達障害及びその傾向がある生徒に対し、学びを保障するため様々なスタイルで授業が受けられるよう、授業の配信やコミュニケーションアプリ等を活用した合理的配慮の提供について

5. 今後の課題と対応

全ての生徒にとって分かり易い授業実施に向けて、教員の技量に差がなく授業展開できるように全教員が同一手法で、一貫した授業スタイルが必要であると感じた。また、場面緘黙の生徒でも自分の意見を発信できるような参加の仕方を多様化する必要がある。障害の有無ではなく必要な人にとって様々な学びの仕方を選択ができる環境づくりを行っていく。

期間が短く脳機能的なアプローチによる効果についてみることはできなかったが、今後も生徒へのコミュニケーション講座を開講し、脳機能的なアプローチについても意識して取り組んでいきたい。

6. 拠点校について

(中学校)

指定校名：星槎名古屋中学校												
	第1学年				第2学年				第3学年			
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数	
通常の学級	58		2		89		3		92		3	
特別支援学級												
通級による指導 (対象者数)												
	校長	副校長 ・教頭	主幹教諭 指導教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	事務職員	特別支援教育 支援員	スクール カウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	1	9	2		5	2		1		22

※特別支援教育コーディネーターの配置人数：1名

※特別支援学級の対象としている障害種：なし

※通級による指導の対象としている障害種：なし

7. 問い合わせ先

組織名：学校法人国際学園

- | | |
|-------------|----------------------|
| (1) 担当部署 | 星槎名古屋中学校 |
| (2) 所在地 | 愛知県名古屋市中村区名駅南 4－6－38 |
| (3) 電話番号 | 052－582－3830 |
| (4) FAX 番号 | 052－561－5931 |
| (5) メールアドレス | nagoyajh@seisa.ed.jp |